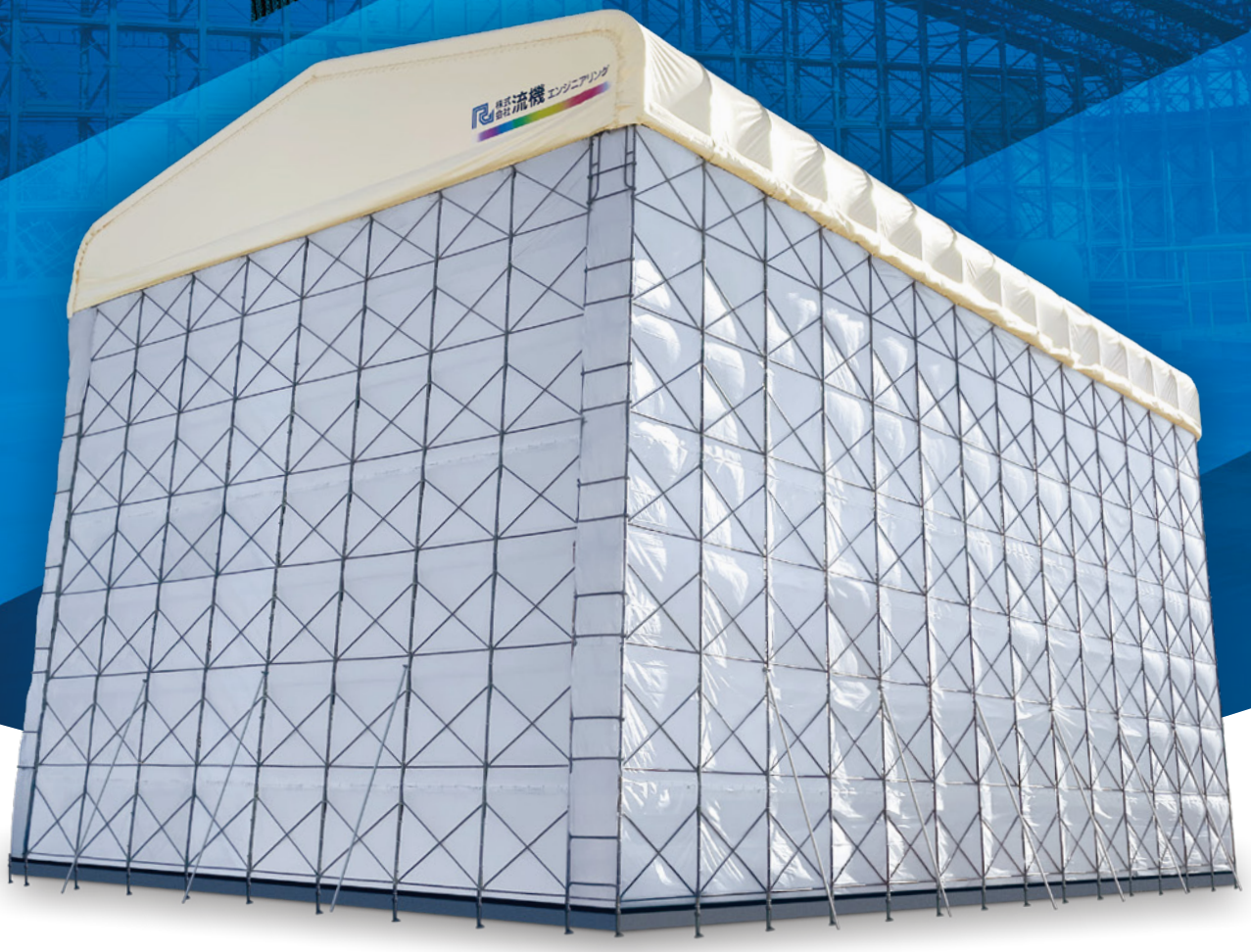
焼却炉解体時のダイオキシンやアスベスト、
土壌浄化時の汚染物質等、飛散防止用途向け

レンタル期間
1ヶ月より
対応可能

スライド式屋根テント



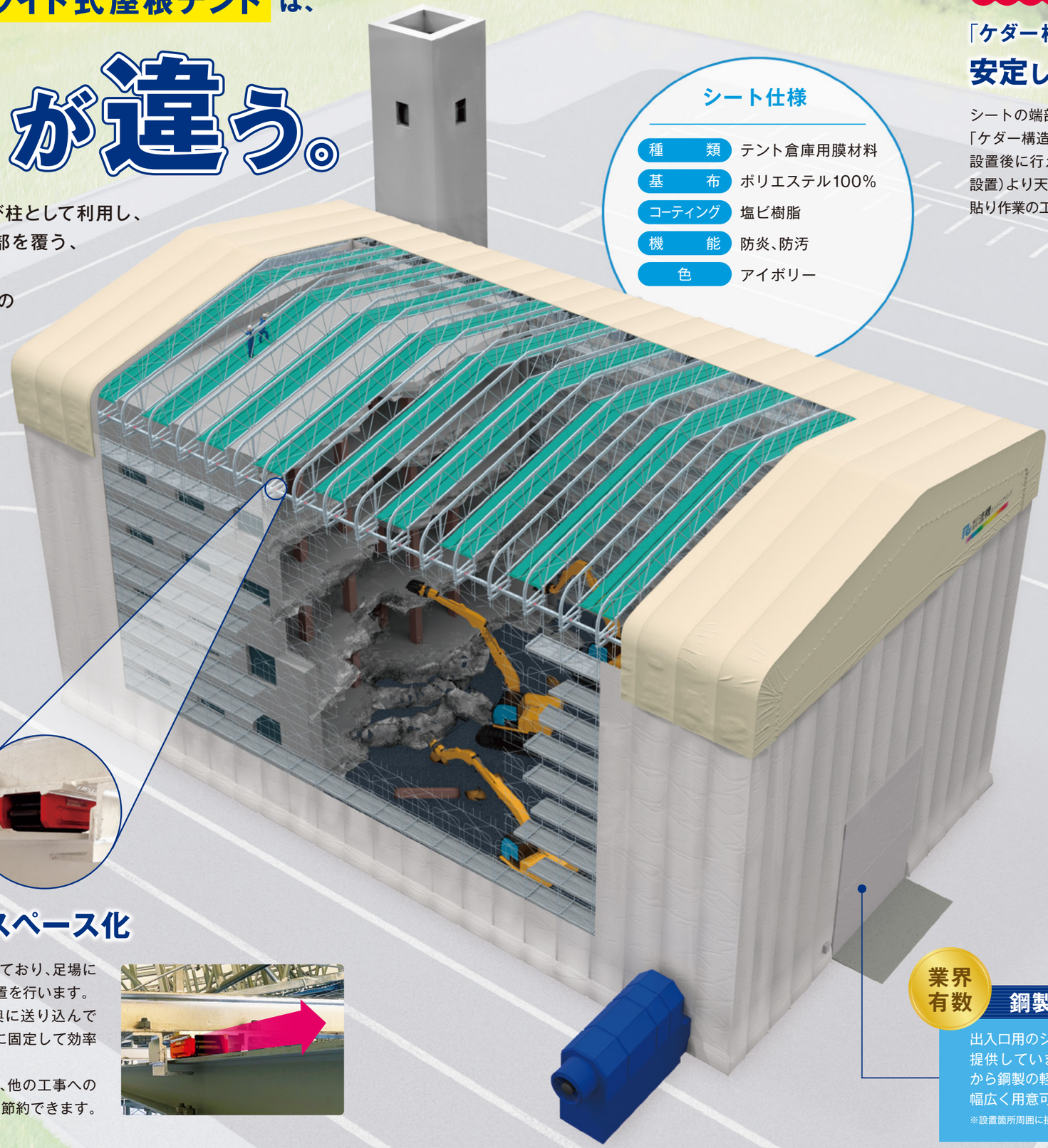
株式会社流機エンジニアリング

流機エンジニアリングの **スライド式屋根テント** は、

「ココ」が違う。

屋根テントとは、枠組足場を側面および柱として利用し、
足場に直接テント屋根を取り付けて上部を覆う、
基礎不要の仮設テントです。
当社製品は最大で幅34m、高さ25m※の
広大な空間を確保でき、
奥行きは制限なく拡張できます。

※ 最大高さは足場の耐久性に準拠した数値



シート仕様

種類	テント倉庫用膜材料
基布	ポリエステル100%
コーティング	塩ビ樹脂
機能	防炎、防汚
色	アイボリー

ココが違う 1

低コスト・短期間で設置

既存の枠組足場を使用する事で、テントの特徴である中柱不要の広い内部空間はそのまま、従来の自立型(一体式)テントよりも低コストかつ、短期間で設置が可能です。
解体工事等で足場を設置済の場合は、屋根の設置だけで完結するので、コスト・設置期間を更に削減できます。

ココが違う 2

「スライド機構」を採用

組み立て作業の省スペース化

足場との接続部にキャスターを備えており、足場に取り付けたレール上を移動させて設置を行います。
奥行きが長いテントでも手前から奥に送り込んで設置できるため、作業場所を一ヶ所に固定して効率よく進めることができます。
クレーンや部材の移動が不要になり、他の工事への影響を最小限に抑え、作業スペースを節約できます。

ココが違う 3

「ケダー構造」を採用

安定した計画進行

シートの端部を筒状に加工し、レール状の窪みに通して取り付ける「ケダー構造」を採用しています。シート貼り作業の大部分を屋根の設置後に行えるため、従来工法(地上でシートを貼った後に屋根を設置)より天候の影響を受けにくく、安定した作業進行が可能。シート貼り作業の工数が従来工法より少ないため、設置期間も短縮できます。

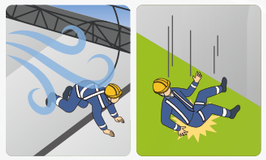
ココが違う 4

安全性を高めた設計と施工方法

部材同士はフランジ構造での接続、足場と屋根はUボルトとハイテンションボルトを用いた固定方法としており、従来よりも頑強な構造になっています。
その強度を活かして、屋根部材に敷板を敷き、その上でシート貼りやジョイント作業を行う手順に変更しました。
「貼ったシートの上に登る」という従来工法の問題点を解決し、安全な作業を可能にしています。

フランジ構造の接続部

● 従来工法例



シートの上に登り、手作業でジョイントが必要です。強風やシートの破損による落下事故、滑り落ちて足場に接触などの危険が想定されます。

● 新規工法

屋根の設置後、敷板の上でシート貼りとジョイントが同じ時に完結。

業界有数

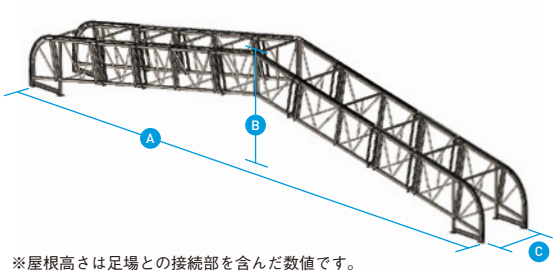
鋼製シャッターのレンタルも対応

出入口用のシャッターも、レンタルで提供しています。シートシャッターから鋼製の軽量・重量シャッターまで幅広く用意可能です。

※設置箇所周囲に接続可能な電源が必要です。

屋根仕様

テント横幅	Ⓐ 横幅詳細	Ⓑ 屋根高さ	Ⓒ スパン幅	全体重量
16m	16.607m	3.613m	1.829m	2,200kg
20m	20.194m	3.971m		2,700kg
23m	23.781m	4.330m		3,100kg
27m	27.368m	4.688m		3,600kg
30m	30.954m	5.047m		4,000kg
34m	34.541m	5.405m		4,400kg



※屋根高さは足場との接続部を含んだ数値です。
※全体重量はボルト・ブレース・敷板等の部材一式を含んだ数値です。
※屋根下の寸法は枠組足場の規格に準拠します。

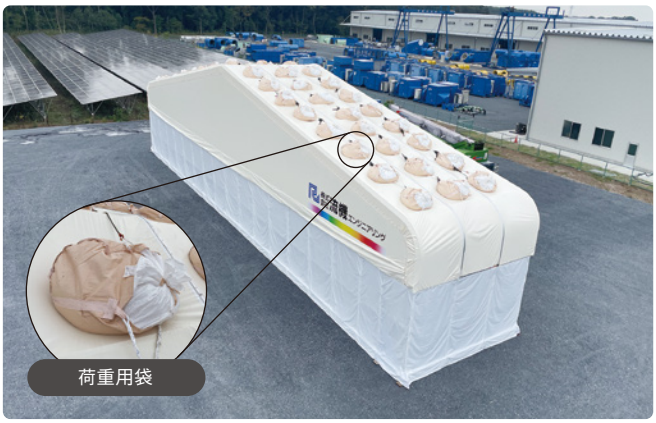
耐荷重試験実施済

試験用のモックアップで 耐荷重の試験を行い、 強度の実証をしています

試験概要

積雪30cm相当となる60kg/㎡での耐荷重強度を試験し確認。

● 試験方法：1,829㎜四方ごとに200kgの荷重用袋を静置。



周辺機器

周辺機器の計画・施工も一括対応 管理の一本化で手間とコストを削減

環境機器メーカーとしての実績を活かし、集塵機や水処理装置、クリーンルーム等の周辺設備も計画・施工が可能です。
一括管理により、お客様との打合せやスケジュール調整の手間を軽減します。
集塵機は処理風量10㎥/min～3,000㎥/minと、小型から国内最大級の大型集塵機まで幅広いラインナップの機械を保有しており、用途や有害物質の種類に合わせて最適な製品を提案します。

1,200㎥/min集塵機

水処理装置

お気軽にご相談ください

焼却炉の解体作業以外にも幅広くご利用いただけます。さらに、レンタルだけでなく販売も可能です。
〈 想定されるその他の用途 〉 イベント、倉庫・資材保管、工事、災害復興、陸上養殖、造船　など

株式会社流機エンジニアリング
本社／〒108-0073 東京都港区三田3-4-2　TEL：03-3452-7400
URL：https://www.ryuki.com　E-Mail：hp_info@ryuki.com